

Roux 講座原稿

2015/3/17

Roux 講座で使用した原稿を公開用に加筆してレジュメっぽくしたものです。講座の雰囲気  
だけなら味わえるかもしれません^^;

- あいさつ
- 講座の流れ
  - 最初に Roux Method について簡単に紹介し、その後各自任意でスクランブルしてもらおう。4ステップをひとつおき解説しながら、全員で完成を目指す。
- Roux Method の概要
  - そもそも「Roux Method」とは何ぞや？
  - どんな解き方をするの？ ※フリップ
- Roux Method の魅力
  - この解法の何が良いの？
  - 「自由度が高い」 ⇒ 考える余地が多い、パズルの、工夫次第
  - 「持ち替えがほぼ無い」
  - 「覚える手順の総数が少ない」 ※OLLとPLLは57手と21手=78手だが、Rouxは42手+ $\alpha$
  - 「見た目の独特さ」 ⇒ カッコイイ。キモイともいう（褒め言葉）。
  - 楽しい！考える余地・工夫できる余地の多さ。LSEの先読みとスピード感。
  - ただの変化球的解法ではない。イギリスのAlexander Lauがsingle 5.96秒（世界6位）、平均7.50秒（世界3位）を記録しているなど、スピード重視の人にも十分おすすめできる。
- First Block
  - 適当に崩してもらおう。
  - 1x2x3を分解していく。1x2x2のスクウェア⇒さらにペア+残りのパーツまで分解
  - ペアを崩さずにスクウェアを作る道筋を考えてもらう。
  - 残りのペアはF2L的な発想で入れて良いが、手数を節約できそうなら節約する。
  - 練習方法：人の解法を見る、何回もやる、など。
- Second Block
  - FBは左側に固定。持ち替え厳禁。回転はM・R・U限定。まずペアを作ってもら

う。

- D面エッジを探し、ペアを崩さないようにD面エッジを入れる。さらにペアを組み合わせて1x2x2完成。
- 残りのペアをF2Lっぽく入れる。ただし持ち替え厳禁。持ち替えたくなったら、M列を使ってみる。
- 練習方法：何回もやる。M列や2層回しを試してみる。パターンを帰納する。

### ● CMLL (簡易)

- 手順総数は42、CO・CPに分けると9手順で済む。
- 回し方は、皆さんがふだん使っているOLLやPLLの手順を使ってください。
- フルの手順集はかそきゅーぶ等に 있습니다。

### ● EO

- まずは俯瞰、それから判断のやり方。U/Dの色がU/D面に見えていれば向きが合っている。
- 最初にセンターを合わせる。
- 判断出来たら回し方はフリップにて。
- キャンセルや先読みなどに少し触れる。

### ● UL/UR

- まずはUL/URがどれか。
- どうすればUL/URが揃うかフリップで示す。両方D面に来ればよい。
- D面までの持っていく方、フリップで。

### ● M-Slice

- 3パターン。3点交換は断面解説で丁寧に。
- 平行交換は、U2 M2 U2 M2
- センター交換は、E2 M E2 M'

### ● あいさつ

- 3x3は飽きた！という方でも、解き方を変えれば、同じ3x3でまた新鮮な楽しみを味わうことができる。